



シリア緊急地震支援へのご支援 ありがとうございました！

こんにちは。Piece of Syria代表の中野貴行です。

この度は、私たちの実施するシリアへの地震緊急支援に温かなご寄付を届けてください、本当にありがとうございます！1100万円を超える寄付が集まり、現地での支援活動は今も続いているが、既に400世帯超に支援を届けています。

2023年2月、トルコ南部とシリア北部を襲った地震はマグニチュード7を超え、未曾有の被害を出しています。シリアでは、2011年3月に始まった戦争が続いているが、ニュースでの関心の低下から支援が減少傾向にあり、さらに2年で8倍にもなる物価高騰など、「ここ数年で一番生活が厳しい」という状況でした。その中で起きた地震は、シリアの人たちを絶望に突き落としたと言います。

しかし、皆さんからのご支援のおかげで、教育支援を通じて現地で培ったネットワークを活かし、迅速に支援を届けることができました。シリア北西部の避難民が集まる地域で、先生や被災した地域住民を対象にテント・毛布・食料の配布や家の補修のための現金給付を行いました。

シリアからは「日本の皆さんから届いた支援は大きな希望になった」という声が届いています！

今回、地震で注目されることになったシリアですが、「戦争」「難民」というイメージをお持ちの方も多いかと思います。しかし、Piece of Syriaは「**シリアをまた行きたい国にする**」というビジョンを掲げて活動をしています。「また行きたい」というのに違和感を持たれるかもしれません、2010年時点では日本より多くの観光客が訪れ、日本よりも治安が良く、大学までの教育が無料で就学率が99.6%、食糧自給率は108%、そして昼の2時まで働けば家族10人が暮らせるような日常があった国だったのです。

僕は2008-10年、青年海外協力隊としてシリア北部で活動していたのですが、歩いていると声をかけられてお茶やご飯をご馳走になったり、バスに乗ったら隣の人にバス代を出してもらったり、「おもてなし」を受ける2年間を過ごしました。

シリアの復興、そして平和のために今後も尽力していきます。

シリアの課題だけでなく魅力も知っていただき、いつかご支援いただいた皆さんと一緒に、平和なシリアに訪れる未来を実現できれば嬉しいです！

Piece of Syria代表 中野貴行

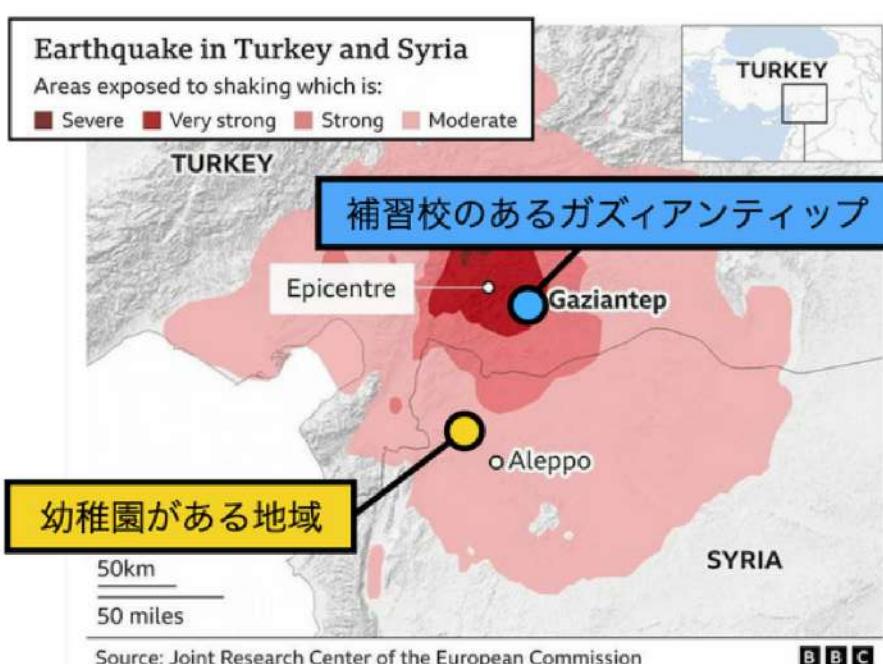


地震の緊急支援が始まるまで

私たちは、支援が届きにくい場所に住むシリアの子ども達に教育を届ける活動を2016年から続けており、今まで2600人を超える子ども達に教育の機会を届けてきました。今回の地震が襲ったのは、まさに活動地であるトルコ南部のシリア難民向け補習校と、シリア国内の幼稚園がある地域でした（左下地図参照）。

地震発生直後、心配な気持ちでシリア人スタッフに連絡したところ、返事がすぐに返ってきて、幸いなことに生徒・先生・建物が無事であることを確認することができました。しかし、その被害があまりに大きいことが判明したため、被災地への緊急支援を立ち上げました。

地震の震源地はトルコ南部ですが、支援対象としてはトルコに比べて自治体が脆弱で、海外からの支援も届きにくいシリア北西部へ集中することにしました。戦争による影響で、自治体や海外からの支援が届かない中でしたが、現地にいるスタッフが教育支援で培ったネットワークを用いて、購入できる資金があれば物資を手に入れて、最も必要な人たちに配布することができます。そこで、日本側でクラウドファンディングを開始し、600名を超える方から1100万円以上のご寄付をお預かりし、現地で緊急支援の活動を実施しました。



多くの家が地震で倒壊し、家を失いました



「これで先生を続けられる」～支援から生まれた物語～

私は、3人の子どもを持つアラビア語の教師です。私の家は古く、地震で家の壁の一面が剥がれて住めなくなりました。私の妻も子ども達も、恐怖で泣き叫んでいました。いつ壊れるか分からないので、家の中に留まりたくない、どこか違う場所に行きたい、と私に訴えていました。しかし、私たちが住んでいるのは、シリアの他の場所から避難してきた人が集まる地域です。子どもの数に対して学校も先生も足りていません。私がここを離れることは、教師が減り、そして学校がなくなってしまうかもしれません。生徒達のためにも家族をなんとか説得したかったのですが、危険な家に家族をとどまらせることもできません。

その葛藤の中、Piece of Syriaから緊急支援のお金が届き、そのお金で家の補修をすることができました。家族と共に地域に残り、毎日学校に行くことができ、生徒達を教える喜びを感じることができます。家族か生徒か、どちらかを犠牲にしなければいけないと思っていました。ですが、皆さんのおかげで、家族を守り、そして教育を通じて地域の子ども達の未来も守ることができました。本当に感謝しています。シュクラン！（ありがとうございます）

アフマド（仮名）

皆さんのご支援でできたこと

【テント・食料・毛布の配布】】

地震によって、多くの家が倒壊したり、倒壊はしなくとも余震が続く中で住み続けることが危険な状態になりました。そのため、夜には氷点下になる中であっても、路上で生活をせざるを得ません。現地では物価の値上がりも起こったのですが、現地の工房と協力してテントを自作するなどの工夫もしながら、テント・食料・毛布の配布を実施しました。寒さと不安の中にいたシリアの家族に、心も体も温まる支援を届けることができました。



余震が続く中、寒い路上での避難生活に



食糧支援のための物資を準備するスタッフ



テント不足に対応するため、テントを工房で作成



家族5人が生活できる大きさのテントを配布しました

【先生を対象にした現金給付】

地震によって影響を受けた先生を対象に、現金給付を行いました。物資でなく現金を届けている理由は、家の補修や、子どもの数、家族の持病など、各家庭ごとに必要なものが異なっているため、現金給付の方がより細やかに被災者のニーズに対応できるからです。また、家の補修を現地の職人に依頼することは、地域経済にとってもプラスになります。共に活動をしてきた先生達が、今後も教師として地域で活動を続けてもらうための大切な支援を届けました。



スタッフが状況を確認し、現金給付を行いました

今後については、国連や各 government、他のNGOの支援がカバーできていない分野、特に心のケアや教育分野への支援を臨機応変に届けて参ります。HPやSNSなどで報告いたします。
緊急地震キャンペーン期間中にお預かりした寄付は、システム手数料を除いた全額を、現地での活動費に充てさせていただきます。（日本側での経費には用いません）



Piece of Syriaからのお願い

-緊急支援から継続的な支援へ-

今回の地震によって家を失った先生もいます。子どもだけでなく、大人達にも、心理的なケアが必要です。戦争に加えて、地震という被害にあったシリアの人たちが日常を取り戻すには、時間がかかります。そこで、より安定的に質の高い教育支援をしていくために、継続的な支援を届けてくださるパートナー会員を募集するキャンペーンを開始しました。

(Piece of Syriaでは継続支援してくださる方を、共に活動を作る仲間だという思いを込めて「パートナー会員」と呼ばせていただいている) 是非、パートナー会員として継続的に私たちの活動を応援してください!

目標：300名（2023年6月11日まで）

※既にご支援いただいている方の増額も大歓迎です！



4/10(月)～6/11(日)

シリアの未来を創る
パートナー会員募集キャンペーン



キャンペーン詳細は↑こちらのQRコードから：https://piece-of-syria.org/news/event/monthlyfunding_2023.html

毎月1,000円で
1年間支援すると



シリアの子ども3人が1年間
専門家による心のケア
を受けることができます

毎月3,000円で
1年間支援すると



シリアの子ども1人が1年間
教育を受ける機会
を届けることができます

毎月10,000円で
1年間支援すると



シリアの先生にお給料を届け
先生の家族を半年間
を支えることができます

<継続寄付が増えて、生まれた成果、生まれる成果>

★継続のご寄付を届けてくださる方が増えたことで、2021年から受け入れ児童を
100人→200人→300人と1年ごとに増やしています。

★安定的に先生に給与を届けられるようになり、先生達が「今日の家族の食事」ではなく
「どうやってより良い授業をするか」に集中し、教育の質を向上できました。

★戦争によるトラウマを抱えた子ども達に実施してきた心のケアを、専門家と共に、
地震のトラウマも対象に、保護者・先生と協力して家庭でも実施できるようにできます。